

## 抗 GFP 抗体, ウサギ血清

60-011 100  $\mu$ l

**Green fluorescent protein (GFP)** は 238 アミノ酸 (26.9 kDa) から成り、もともとはオワンクラゲ *Aequorea victoria* より分離されたタンパク質で、青色光で励起された場合緑色の蛍光を発する (文献 1)。細胞生物学、分子生物学の分野では、**GFP** 遺伝子を他のタンパク質遺伝子と融合させ、融合タンパク質の分布や発現を調べることができるため、**GFP** は有力なツールとなっている (文献 2,3)。

### 用途:

1. ウェスタンブロッティング (1/2,000 希釈)
2. 免疫沈降
3. 蛍光免疫染色及び蛍光免疫組織染色 (1/4,000)

**抗原:** リコンビナント His-tagged EGFP

**反応特異性:** GFP, EGFP, EmGFP および GFP-tagged タンパク質

**形状:** 0.05% sodium azide 添加血清

**保存:** 4°C で送付、小分けして -20°C で保存。繰り返し凍結融解は避ける。

**データリンク:** Swiss-Prot [P42212](#) (GFP\_AEQVI)

### 文献:

1. Shimomura O *et al* (1962) "Extraction, purification and properties of aequorin, a bioluminescent protein from the luminous hydromedusan, *Aequorea*." *J Cell Comp Physiol* **59**: 223–239 PMID: [13911999](#)
2. Chalfie M *et al* (1994) "Green fluorescent protein as a marker for gene expression." *Science* **263** (5148): 802–805 PMID: [8303295](#)
3. Tsien R (1998) "The green fluorescent protein." (PDF) *Annu Rev Biochem* **67**: 509–544 PMID: [9759496](#)

### 図 1 この抗体を用いた GFP タンパク質のウェスタンブロッティング

- : 空のベクターをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate
- +: GFP 遺伝子を担っているプラスミドをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate

### 図 2 この抗体を用いた GFP-融合 tagged 質の免疫沈降とウェスタンブロッティング

- : 空のベクターをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate
- +: GFP-tagged NPM1 遺伝子を担っているプラスミドをトランスフェクトした 293T 細胞の lysate

**関連製品:** #[60-001](#) 抗 GFP 抗体、ラットモノクロー (1A5)

図 1

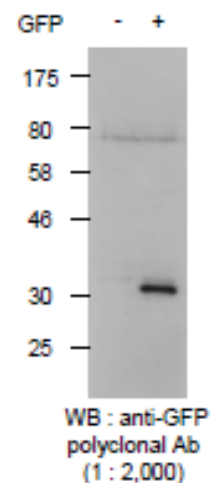
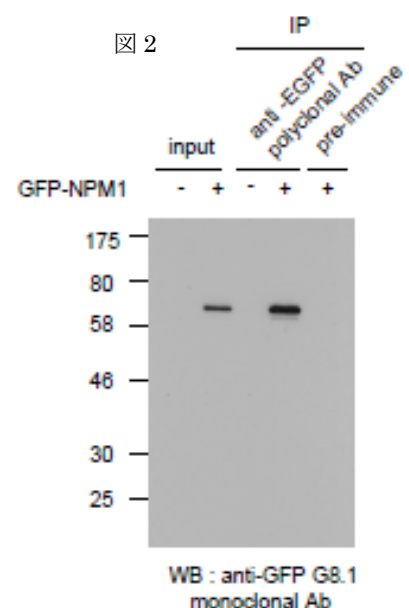


図 2



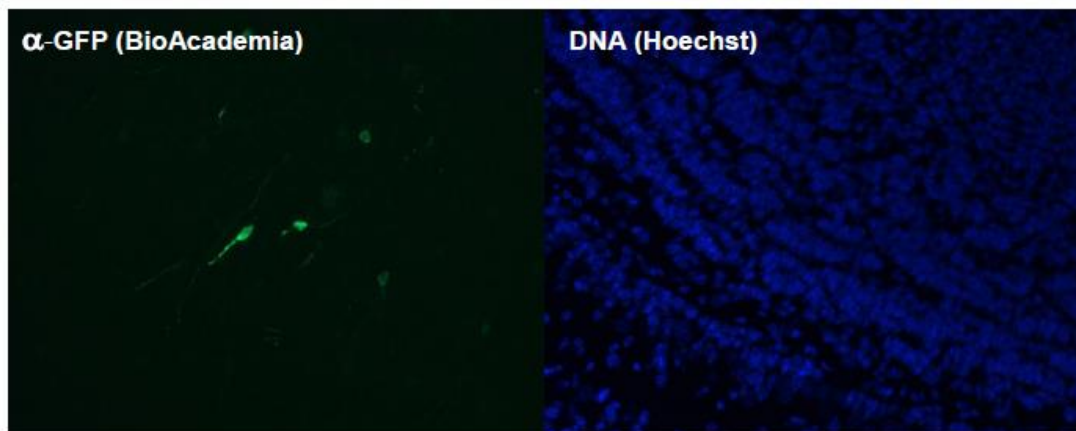


図3. 抗 GFP 抗体を用いた免疫組織染色によるマウス脳組織に発現させた GFP の検出  
マウス出産 0 日の脳に GFP 発現レンチウイルスを感染させ、8 日目に嗅球を切り出し、  
4%パラフォルムアルデヒドで固定した後、凍結切片を作成した。本抗体を 1/4,000 希  
釈で用い、二次抗体は Alexa 488 標識した抗ウサギ IgG 抗体 (Invitrogen) を 1/1,000  
希釈で用いた。染色体 DNA は Hoechst 33342 (Sigma-Aldrich) で染めた。